

<参考資料①>

中期経営計画

KENKO Transformation Plan (2021年度～2023年度)



KENKO Transformation Plan

B to B to C

イノベーション

構造改革

グローバル

サステナビリティ

当初目標 連結売上高：800億円 連結経常利益：40億円

最優先課題 利益回復

価格改定

商品統廃合

徹底した効率化

連結売上高：887億円 連結経常利益：30億円

テーマ

B to B to C

消費者の皆様に
当社を直接知っていただく
機会を増やす

イノベーション

将来の地球環境を見据え、
環境保全を意識した中から
New KENKOを創り出す

構造改革

基盤事業の成長を
目指すための改革の実行

グローバル

グローバル事業の基盤強化

主な取り組み

商品・ノウハウ発信

ECサイトの強化

New KENKOの検討

プラントベースフード

人事制度改革

基幹システム再構築

輸出販売

海外への情報発信

B to B to C

消費者の皆様当社を直接知っていただく機会を増やす

▼小容量サイズの商品充実

- ✓ 200ml・gサイズ商品の充実
- ✓ 簡単調理の個食商品発売



簡単調理の個食



200ml・gサイズ



栄養補給商品



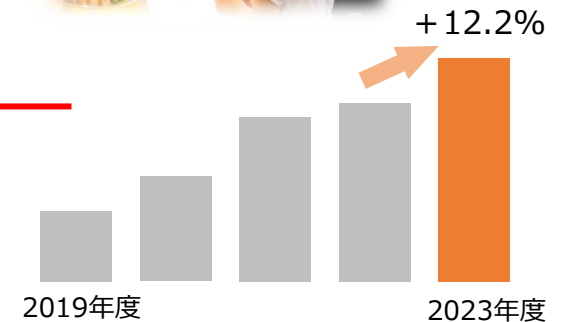
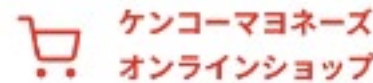
外食気分を味わえる
CANDISH®

▼商品・ノウハウを発信

- ✓ サラダカフェ新規出店
(東京新宿・神奈川青葉台)
- ✓ 料理教室 キッチンスペース831
オンライン&対面レッスンの開催
- ✓ 食育活動



▼ECサイトの強化・売上高UP



▼SNSの活用

- ✓ 企業活動と商品の認知

KENKO Transformation Plan 成果

参考資料① 中期経営計画



イノベーション

将来の地球環境を見据え、環境保全を意識した中から
New KENKOを創り出す

▼ 植物性原料を中心に プラントベースフードの開発



▼ 日本の伝統を大切にした 和惣菜の開発



▼ 賞味期間 製造日+90日 『FDF Plus®』発売



食品ロス削減
国民運動キャラクターの貼付



▼ スマイルテーブル発売

油分抑えつつ充実感・満足感のある商品



▼ 地方創生とアップサイクルの取組み



構造改革

基盤事業の成長を目指すための改革実行

▼ 人事制度改革

- ✓ 新人事制度（24年4月施行）

▼ 基幹システムの刷新

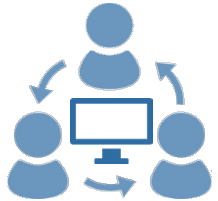
- ✓ IT基盤の強化

▼ コーポレート・ガバナンス強化

- ✓ 外部専門業者と連携した
エグゼクティブ・コーチングの実施

▼ 商品情報の集積・共有・循環の推進

- ✓ 商品情報データベース化と企業別分析を可能に
- ✓ レシピ検索システムの進化
- ✓ 知的財産の管理ルール・フローの構築と施行
- ✓ 社内ブランディングの強化

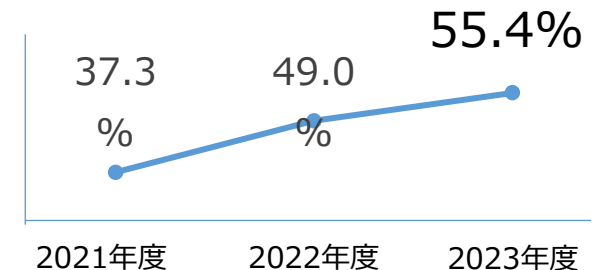


▼ 最新技術の生産体制

- ✓ 惣菜盛り付けロボット導入（関東DC）

▼ 改善活動

- ✓ 全部署横断による活動で
全体の**55.4%**課題解決



グローバル グローバル事業の基盤強化

▼賞味期間延長 輸出商品の拡充



▼安定した原材料確保のための新規産地の選定

▼海外への情報発信強化

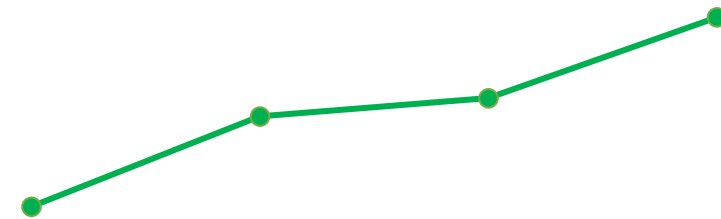
- ✓ 英語版HPリニューアル (2022年)
- ✓ 英語版 Instagram開設 (2023年8月)
- ✓ 『統合報告書』の英語版開示

▼FSSC22000・ISO17025などグローバルスタンダードな認証の取得

▼輸出販売 売上伸長

年度別推移

2020年度比+63%



2020年度

2023年度

エリア別 2020年対比 +63%

EU圏 +186%

東アジア
+32%

北米
+39%

中東・アフリカ
+317%

東南アジア
+22%

オセアニア +134%

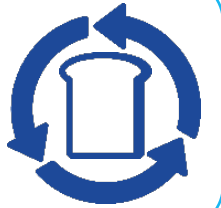
持続可能な社会の実現に向けて

2022年4月 サステナビリティ推進室設置

廃棄物削減

当初目標 ▲5% → 2023年度 ▲10.6%

(2019年度対比 原単位)



温室効果 ガス削減

当初目標 ▲3% → 2023年度 ▲8.3%

(2019年度対比 原単位)



外部要求 事項への対応

- 環境関連情報の開示 (TCFD、CDP対応)
- Scope3算出

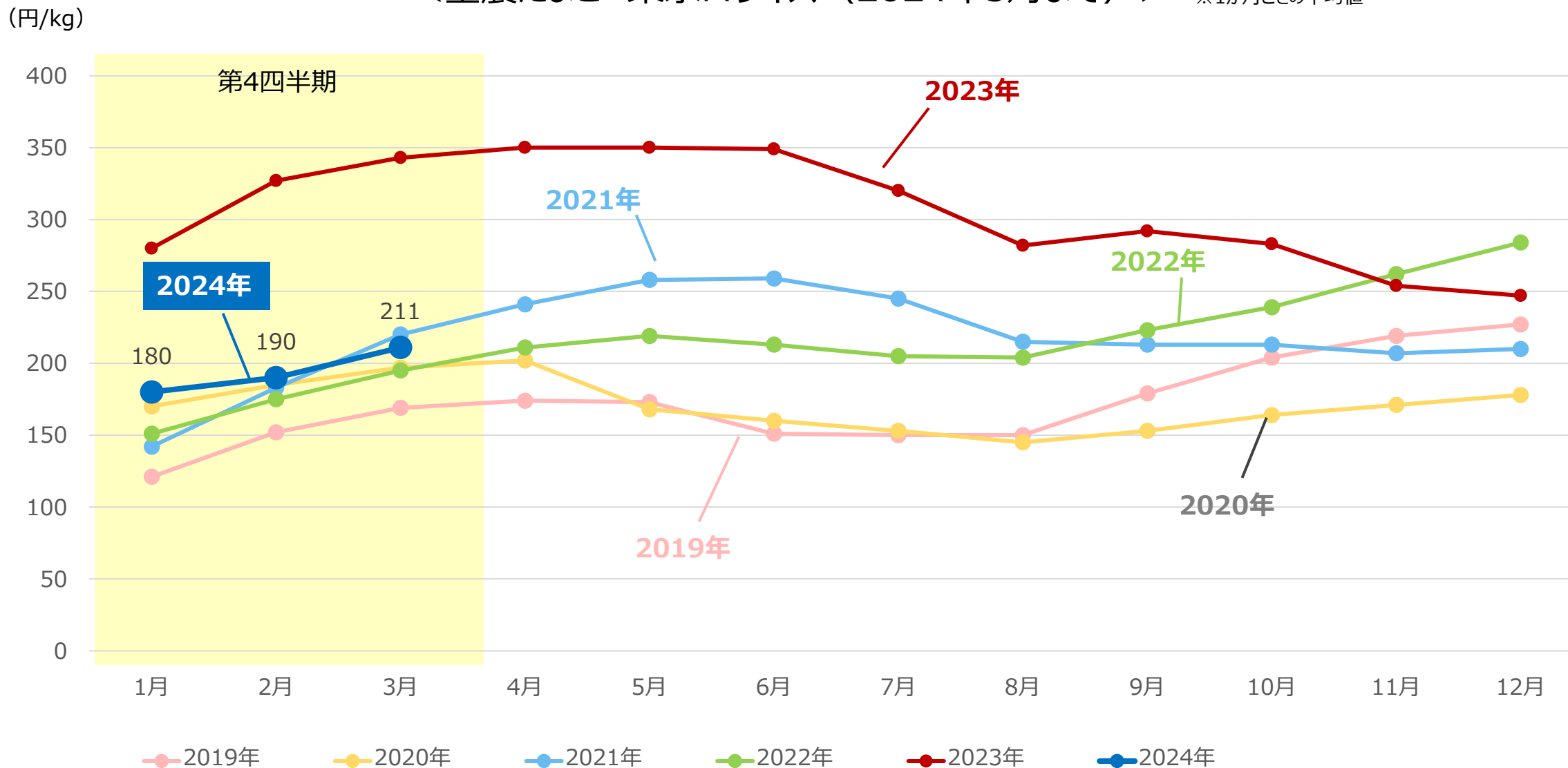


<参考資料②>

原料相場の動向

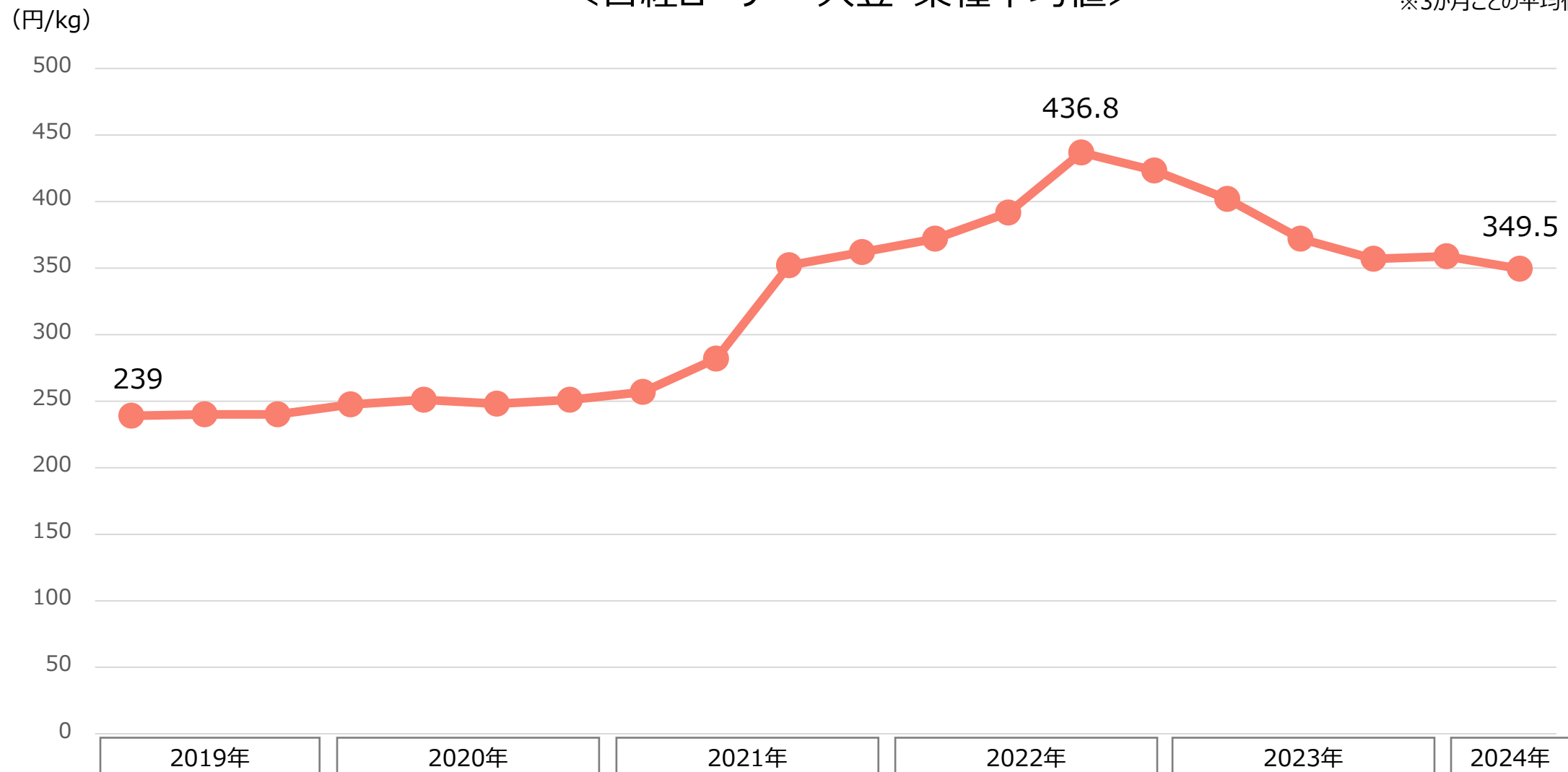


＜全農たまご 東京Mサイズ（2024年3月まで）＞ ※1か月ごとの平均値



<日経ローリー 大豆・菜種平均値>

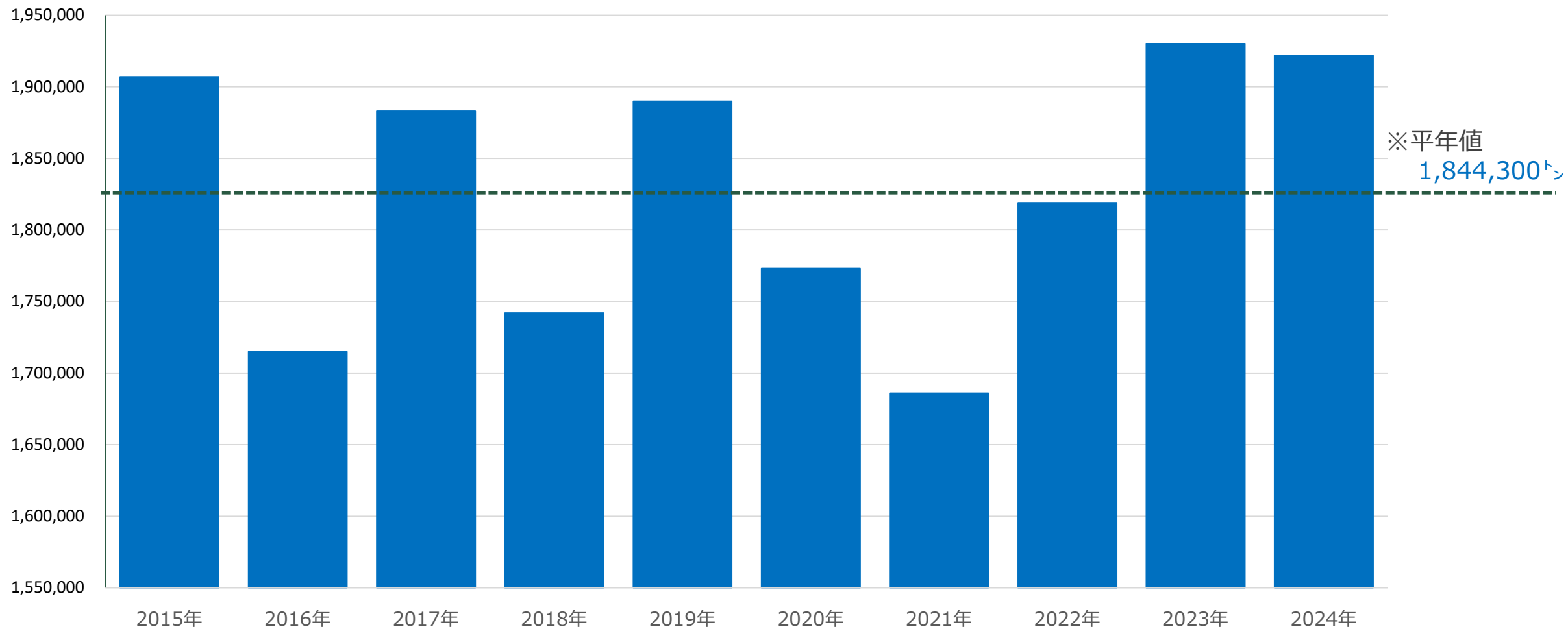
※3か月ごとの平均値



「ジャガイモ」生産量の推移

北海道産馬鈴薯

(単位：トン)



※平年値：過去10年間での最大値・最小値を除く平均値

※2024年は5月1日現在の見通し

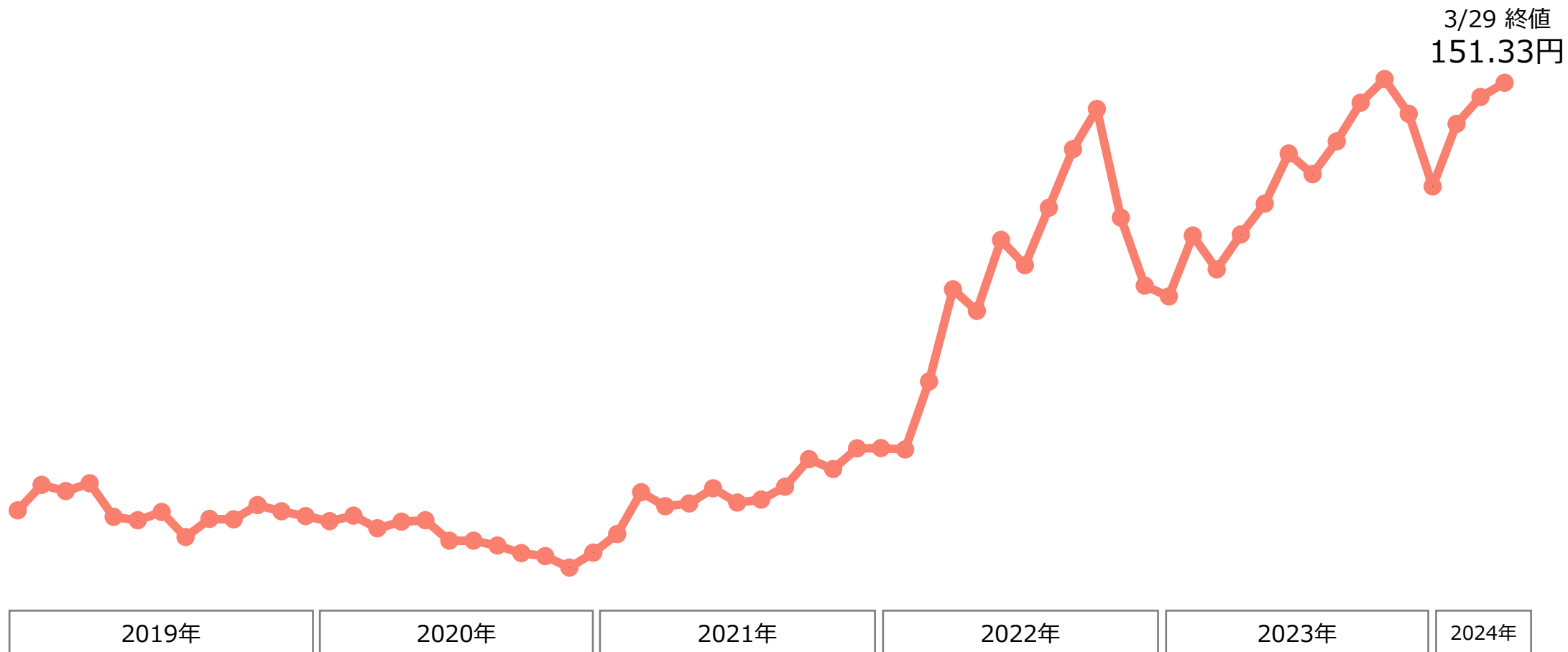
為替 (米ドル/円レート)

参考資料② 原料相場の動向



(単位：円)

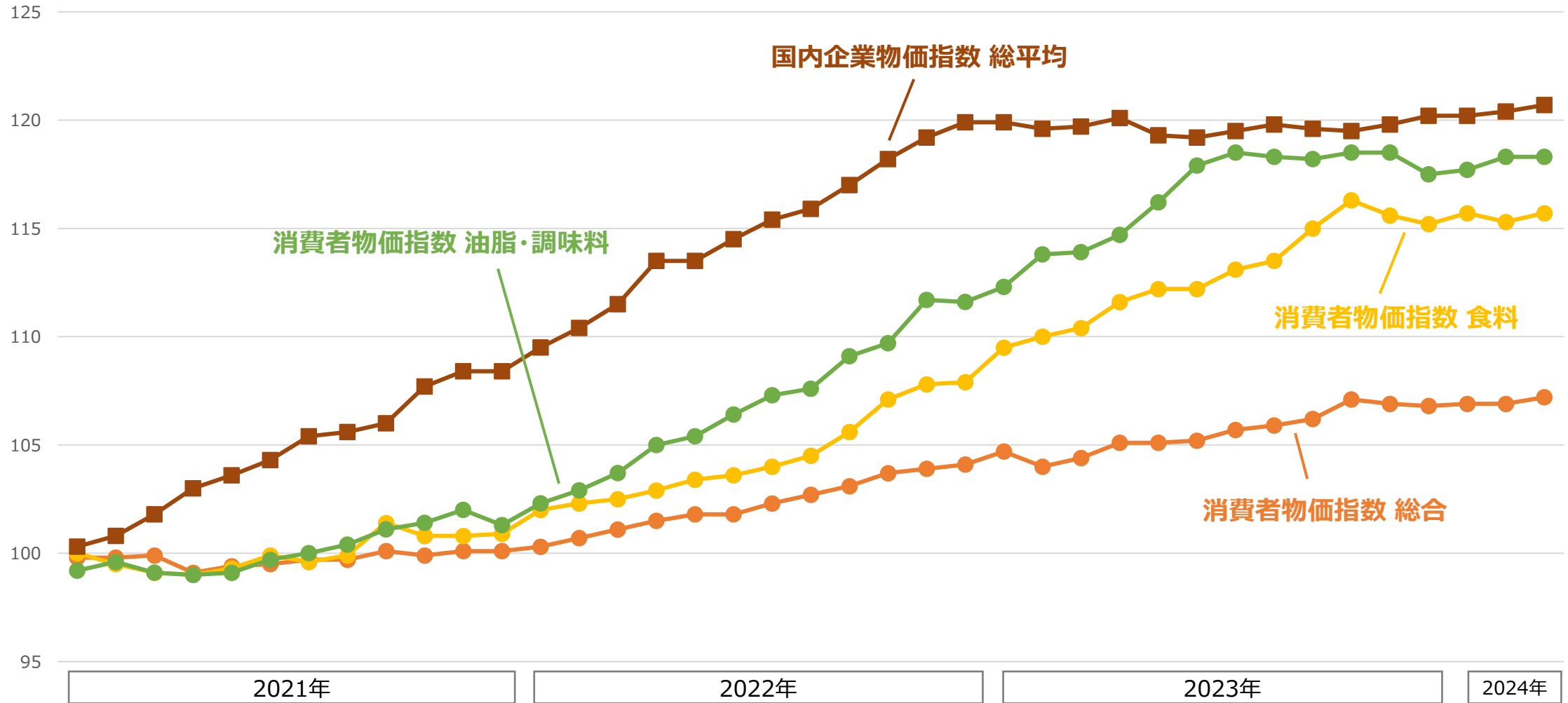
160
150
140
130
120
110
100



※各月の終値の推移 Kabutan 参照

全国消費者物価指数・国内企業物価指数

参考資料② 原料相場の動向



—●— 消費者物価指数 総合 —●— 消費者物価指数 食料 —●— 消費者物価指数 油脂・調味料 —■— 国内企業物価指数 総平均

※各月の推移 (2020年 = 100)

※総務省統計局 2020年基準消費者物価指数 中分類指数 (全国) 月次 参照

※日本銀行 時系列統計データ 検索サイト 企業物価指数[PR01] 企業物価指数2020年基準

<参考資料③>

会社概要



社名	ケンコーマヨネーズ株式会社 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
創立年月	1958年（昭和33）3月
資本金	54億2,403万円
本店所在地	兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号 （東京本社） 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
代表者	代表取締役社長 島本国一
事業内容	サラダ・総菜類、マヨネーズ・ドレッシング類、 タマゴ加工品等の食品製造販売
売上高	887億2,400万円 2024年3月期（連結）
経常利益	30億9,900万円 2024年3月期（連結）
従業員数	3,075名（連結） 2024年3月末時点（臨時雇用者含む）
市場	プライム市場（2022年～）



● 企業理念（ミッション＋パーパス）

守るべきもの

心身（こころ・からだ・いのち）と環境

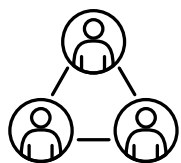
使命

食を通じて世の中に貢献する。

● ビジョン（目指すべきもの）

サラダ料理で世界一になる

● 行動方針



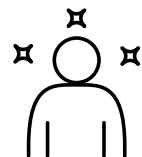
「チームワーク」

わたしたちは「人」を大切に育てます。



「チャレンジ」

わたしたちは「未来」を見据えて挑戦します。



「プロフェッショナル」

わたしたちは「品質」「サービス」で一番になります。



「アグレッシブ」

わたしたちは「変化」を楽しみ成長し続けます。



「プライド」

わたしたちは「わたしたちの価値」に誇りを持ちます。

1958年（昭和33年）

会社創立

1961年（昭和36年）

業務用サラダ向け「ケンコーマヨネーズAS」製造販売開始

1966年（昭和41年）

ケンコー・マヨネーズ株式会社に商号変更

1977年（昭和52年）

業界初 ロングライフサラダ（LLサラダ）
「ファッションデリカフーズ®」発売

外食・中食市場が広がるなか、LLサラダを市場に投入・市場創造

1986年（昭和61年）

業務用 ごぼうサラダ発売 ファイバーブームの先駆けに
サラダを柱とした、調理加工食品およびタマゴ加工品へ事業拡大

2005年（平成17年）

サラダカフェ株式会社設立

2012年（平成24年）

東京証券取引所市場第一部指定
インドネシア（ジャカルタ）に拠点設立

2015年（平成27年）

Vancouver Research Office（カナダバンクーバー）開設

2018年（平成30年）

(株)ダイエットクック白老 新工場、(株)関東ダイエットクック 神奈川工場竣工
米國中食メーカーへの出資

2019年（平成31年）

静岡富士山工場 第2工場、西日本工場 増築部分竣工

2022年（令和4年）

東京証券取引所プライム市場に移行



↑ケンコーマヨネーズAS



↑ファッションデリカフーズ®



ケンコーマヨネーズグループとは



【ケンコーマヨネーズ】



【連結子会社】

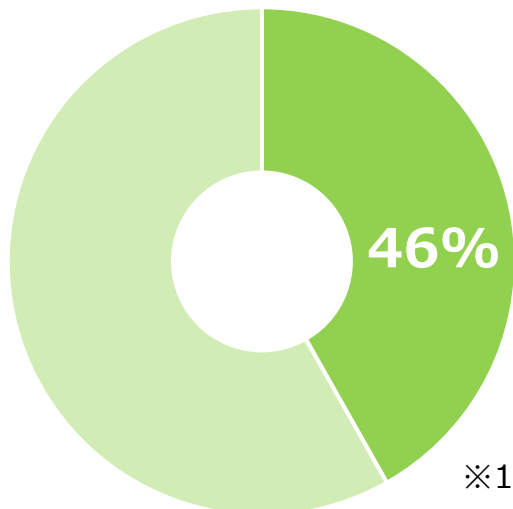


【サラダカフェ】



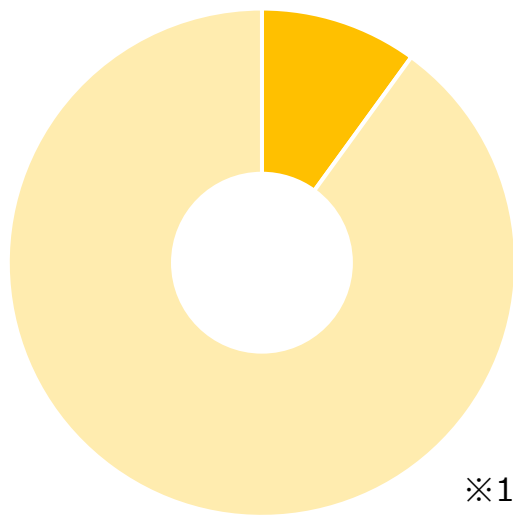
サラダ・総菜をはじめ、タマゴ加工品、マヨネーズ・ドレッシング類の開発・製造ノウハウをもつケンコーマヨネーズの「メーカー機能」に加え、フレッシュ総菜の製造ノウハウを持ち、メニュー開発も手掛ける連結子会社の「総菜機能」、関西・関東の百貨店やショッピングモールを中心にショップを展開し、レシピをWebやSNSで発信するSalad Cafeの「ショップ&Web機能」。お互いに補完し、情報を収集・発信することでお客様の満足を追求しています。

サラダ類



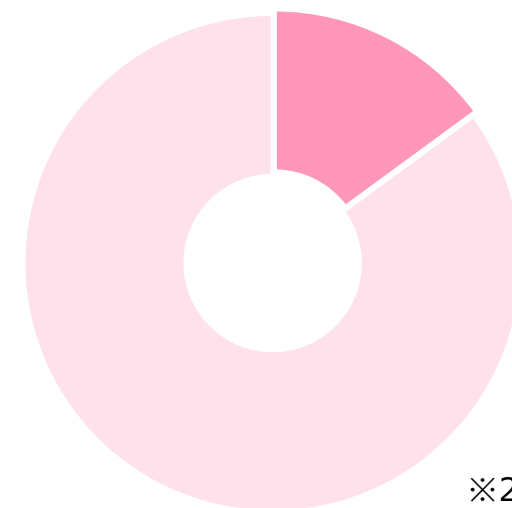
業界のパイオニア
トップシェアを堅持

卵焼き類



シェア10%

マヨネーズ・ ドレッシング類



シェア15%

今後も業界シェアの拡大を目指します

※1 出典：富士経済『食品マーケティング便覧』（2023年見込）データより当社作成
※2 出典：全国マヨネーズ・ドレッシング類協会のデータ（2023年実績）より当社作成

あらゆる食シーンに合わせた約**1,300**※を超える商品数

サラダ・総菜類

ロングライフサラダ・
フレッシュサラダ・和惣菜など



FDF®(ファッションデリカフーズ®)
FR&FR®(フレッシュ&フレッシュ)



冷凍商品等

和惣菜

タマゴ加工品

錦糸卵・フレッシュエッグ・
卵焼き・など



タマゴ加工品

マヨネーズ・ドレッシング類

マヨネーズ・ドレッシング・
クッキングソースなど



マヨネーズ類

ソース類



ドレッシング類

商品
(アイテム)

メニュー
例



ポテとひき肉の
クロケット仕立て

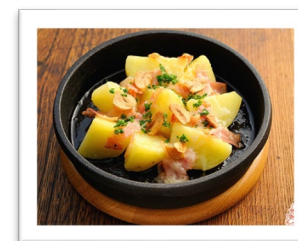


豚の角煮丼

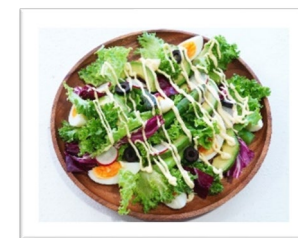
レンジでお手軽
とろ〜りたまご



香るサラダそば



ポテとベーコンの
ガリバタ焼き



たまごとアボカドの
グリーンサラダマヨネーズがけ

ロングライフサラダとは？

1958年 当社創立

1977年 **業界初** ロングライフサラダを開発

《ロングライフサラダの特長》

低温
殺菌

密閉
包装

冷却

- ✓ 袋から出してそのまま使用可能
- ✓ 衛生的で安全・安心
- ✓ 冷蔵で15～60日間保存可能
※今期の新商品『FDF Plus®』シリーズは90日間！
- ✓ 多彩に広がるレシピ

新発売！



“ごぼうサラダ”を日本で初めて開発！

煮物に使うのが一般的だった

ごぼうをサラダに！



1986
発売



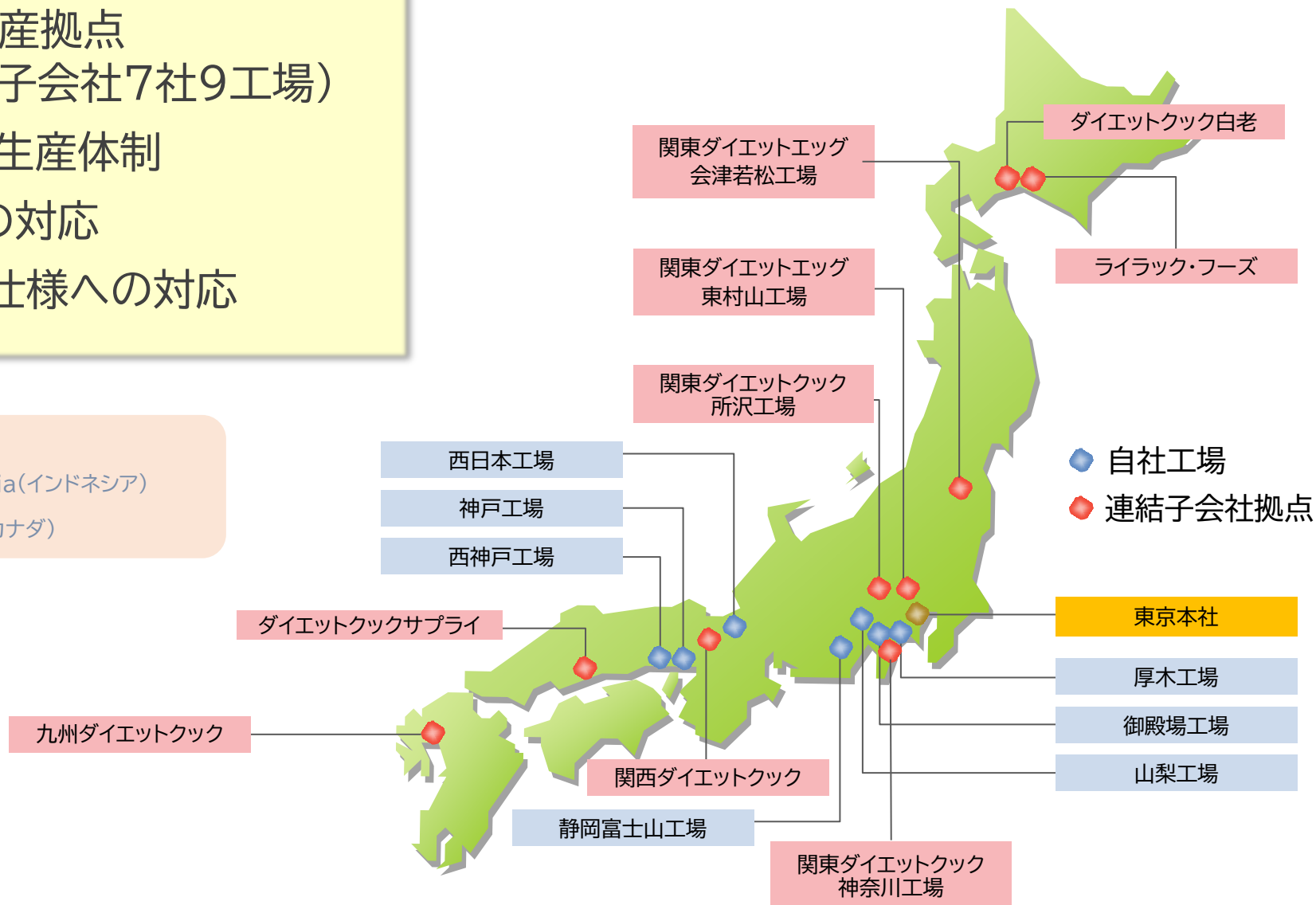
※写真は使用例

全国にまたがる生産拠点・海外拠点

- 全国に広がる生産拠点
(自社7工場、連結子会社7社9工場)
- 地域に密着した生産体制
- フレッシュ化への対応
- 変種定量、顧客仕様への対応

<海外ネットワーク>

- ▷PT.Intan Kenkomayo Indonesia(インドネシア)
- ▷Vancouver Research Office(カナダ)



オンラインショップのご案内



●ケンコーマヨネーズオンラインショップ

マヨネーズ、ドレッシング、サラダ、卵焼きなど多様な商品やレシピを取り揃えています。

約400品
取り扱い



新規会員登録で500円クーポンプレゼント！詳しくはこちらをクリック

人気商品お試しセット



<ケンコーマヨネーズ 商品サイト>
www.kenkomayo.com



三位一体提案の実践として百貨店やショッピングモールなどに出店（13店舗）

- Salad Cafe 近鉄あべのハルカス店
- Salad Cafe SALA PARA 阪急百貨店うめだ本店
- Salad Cafe SALA PARA 千里阪急店
- Salad Cafe 東武百貨店池袋店
- Salad Cafe 京王百貨店新宿店
- Salad Cafe 小田急百貨店町田店
- Salad Cafe 青葉台東急フードショー店
- Chef's DELI / WaSaRa 渋谷スクランブルスクエア店

- WORLD SALAD Chef's DELI 阪急百貨店うめだ本店
- WaSaRa 近鉄あべのハルカス店
- 皿多屋 Ario八尾店
- 皿多屋 イトーヨーカドーあべの店
- 皿多屋 イトーヨーカドー武蔵境店



<Salad Cafe公式アプリ>

サラダカフェをもっと身近に！
ポイント機能やクーポンなど、
お得で便利な情報を配信中



ダウンロードはこちら↑

<参考資料④>

主な指標の推移



業績の推移 主な経営指標（連結）

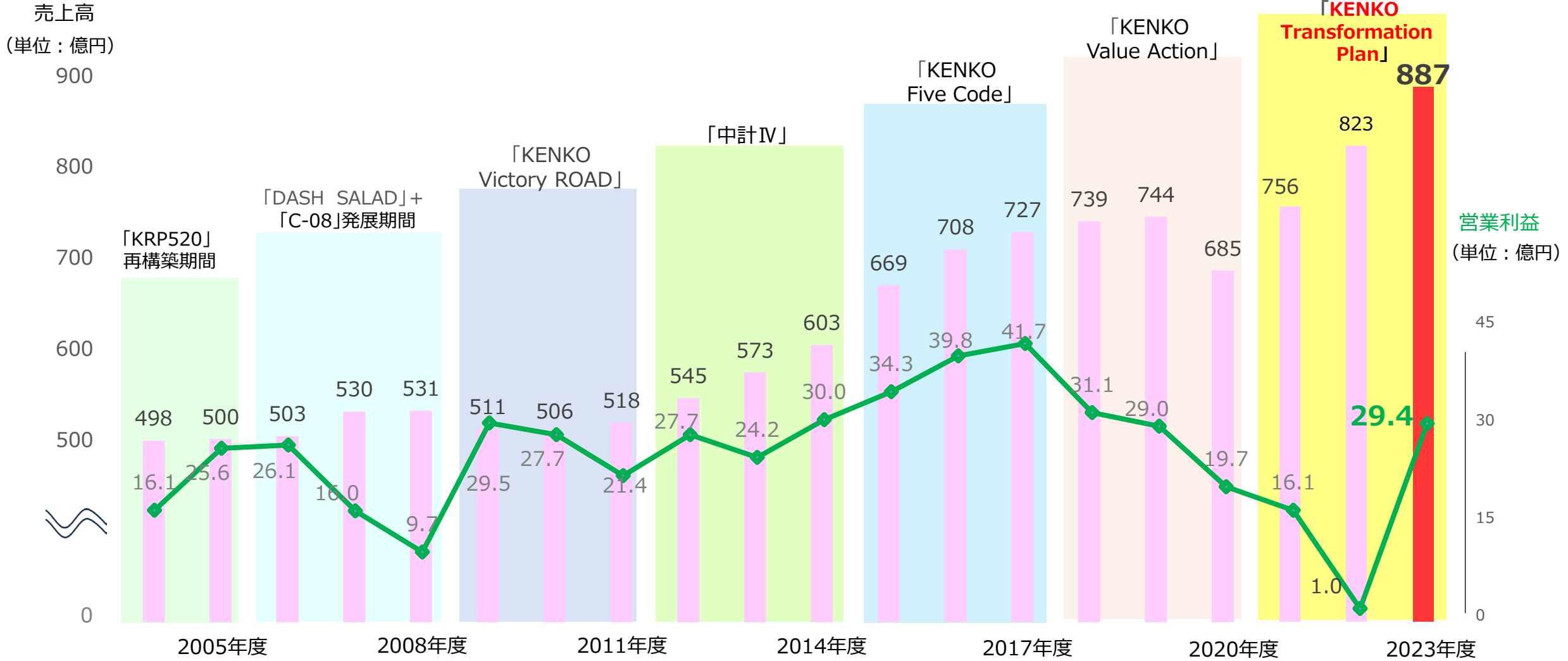
参考資料④ 主な指標の推移



(単位：百万円)	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
売上高	72,759	73,989	74,480	68,502	75,647	82,363	88,724	90,000
営業利益	4,173	3,116	2,900	1,976	1,616	105	2,949	3,200
経常利益	4,149	3,145	3,003	2,050	1,622	169	3,099	3,300
親会社株主に帰属する当期純利益	2,877	2,296	2,058	1,458	1,211	485	2,735	2,260
1株当たり当期純利益（円）	174.65	139.40	124.94	88.51	74.32	29.86	169.90	140.37
純資産	30,984	32,900	34,103	35,577	36,539	36,794	38,978	-
総資産	64,877	70,105	63,767	62,320	61,760	62,229	67,370	-
自己資本比率（%）	47.8	46.9	53.5	57.1	59.2	59.1	57.9	-
セグメント別売上高								
調味料・加工食品事業	60,139	59,689	59,093	51,611	57,552	63,678	69,101	-
総菜関連事業等	11,327	13,105	14,250	16,057	17,232	17,733	18,714	-
その他	1,292	1,194	1,136	832	861	951	908	-

売上高・営業利益（連結）推移

参考資料④ 主な指標の推移

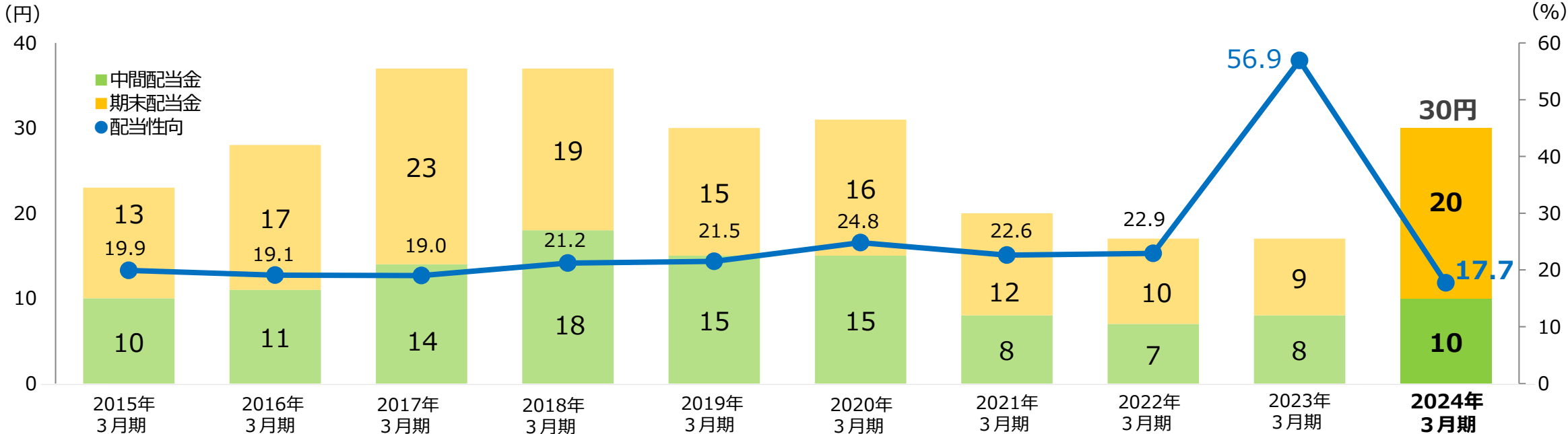


配当金の推移・株主優待品

参考資料④ 主な指標の推移



● 配当・配当性向の推移



● 株主優待

贈呈の基準	贈呈品
1,000株以上保有の株主様 3種類から選択制	当社製品 2,500円相当
100株以上1,000株未満保有の 株主様一律	当社製品 1,000円相当



↑ 1,000株以上保有
当社製品2,500円相当

← 100株以上
1,000株未満保有
当社製品1,000円相当

- I R お問い合わせ

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3-8-13
- 担当者 : 経営企画室 経営管理部 IR課
- 電話 : 03-5941-7682
- E-mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。